

次世代がん治療推進専門家養成プラン

記により講義を行いますので、学生、教職員の方、多数ご来聴下さい。聴講は自由です。

記

Approach to Physical Symptoms in Palliative Care

「緩和ケアにおける 身体症状へのアプローチ」

- | | | |
|----------|------|--|
| 7月7日(月) | (三宅) | がん患者の消化器症状 |
| 7月8日(火) | (吉澤) | 在宅医療における身体症状へのアプローチ |
| 7月9日(水) | (田中) | がん患者の呼吸器症状 |
| 7月11日(金) | (秋山) | ①当院における緩和ケアの歩み
②ACP—患者さんのこれからについて相談する |

1 時限:18:30-19:50 2 時限:19:50-21:10 質疑応答 21:10-21:30

M&D タワー11F 大学院講義室 3

概要:

身体症状に対する緩和治療の意義、がん性疼痛、呼吸困難、倦怠感、浮腫等々多彩ながんに伴う症状の特徴とその対応を解説。さらに外来、一般病棟（緩和ケアチーム）、緩和ケア病棟、在宅医療の現場における身体症状への対応について具体的な事例を提示しながら解説し、疾患の全経過に関与する緩和医療のありかたについて理解を深められるよう講義を行う。さらにすべての診療の基盤となる患者への援助的コミュニケーションについても講義を行う。

科目担当責任教員:

三宅 智 本学大学院医歯学総合研究科 臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

吉澤 明孝 要町病院 副院長

要町ホームケアクリニック 院長

田中 桂子 東京都立駒込病院 緩和ケア科 医長

秋山 修 日本赤十字社医療センター 緩和ケア科 部長

【問い合わせ 大学院教務第一掛 ☎4676】